様式イ

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書（その1）

施策体系コード	1-1-3	3-2-3		事業名	福祉と多世代のふれあい公園づくり事業
担当	環境局みどりの推進部みどりの管理課　　与那覇　TEL211-2536				

全体計画

事業内容		＜年度別の事業内容＞
	○福祉施設と隣接する既設公園において、障がい者や高齢者など誰もが使いやすい施設の整備を地域と福祉施設で連携し進めるほか、整備後の活用・運営についても検討を行う。 ○子育て支援を目的として、子育てサロンの開催箇所と隣接した既設公園の一角に、保護者と乳幼児が安心して遊べる「キッズコーナー」の整備を進める。	○平成20年度 ・福祉施設と連携した公園(バリアフリー公園) 白石東公園　実施設計・工事・ワークショップ ・キッズコーナー　実施設計　5ヵ所 ○平成21年度 ・福祉施設と連携した公園(バリアフリー公園) 実施設計・ワークショップ　1カ所 ・キッズコーナー 実施設計　4カ所　工事　5カ所 ○平成22年度 ・福祉施設と連携した公園(バリアフリー公園) 工事　1カ所 ・キッズコーナー 基本設計・ワークショップ　1カ所　工事　4カ所

事業内容・量・場所・規模・件数等

平成19年度事業内容（決算）	平成20年度事業内容（決算）
○事業内容 ワークショップ　3回、福祉の公園づくり会議　2回（白石東公園）	○事業内容 ・福祉施設と連携した公園(バリアフリー公園) 白石東公園(近隣公園・10,782㎡・白石区平和通16丁目北) 実施設計・工事・ワークショップ ・キッズコーナー 実施設計　5ヵ所 ・白石亀の子公園(白石区菊水元町8条2丁目) ・小野幌くりの木公園(厚別区厚別東3条5丁目) ・東月寒白ゆり公園(豊平区月寒東3条18丁目) ・平岡つぼみ公園(清田区平岡3条6丁目) ・藻岩どんぐり公園(南区川沿8条2丁目)

平成21年度事業内容（決算）	平成22年度事業内容（決算）
○事業内容 ・福祉施設と連携した公園(バリアフリー公園) 基本設計・ワークショップ 西野中央藤花公園（西区西野2条8丁目） ・キッズコーナー 工　事　5ヵ所 ・白石亀の子公園(白石区菊水元町8条2丁目) ・小野幌くりの木公園(厚別区厚別東3条5丁目) ・東月寒白ゆり公園(豊平区月寒東3条18丁目) ・平岡つぼみ公園(清田区平岡3条6丁目) ・藻岩どんぐり公園(南区川沿8条2丁目) 実施設計　4ヵ所 ・篠路駅前北公園(北区篠路6条4丁目) ・北光らいらっく公園(東区北18条東5丁目) ・北っ子公園(西区八軒8条西6丁目) ・前田西公園(南区前田9条15丁目)	○事業内容 ・福祉施設と連携した公園(バリアフリー公園) 実施設計・工事 西野中央藤花公園（西区西野2条8丁目） ・キッズコーナー 工　事　4ヵ所 ・篠路駅前北公園(北区篠路6条4丁目) ・北光らいらっく公園(東区北18条東5丁目) ・北っ子公園(西区八軒8条西6丁目) ・前田西公園(南区前田9条15丁目) 基本設計・ワークショップ ・幌西キッズ公園（中央区南14条西15丁目）

様式イ

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書（その2）

施策体系コード	1-1-3	3-2-3		事業名	福祉と多世代のふれあい公園づくり事業

達成目標の状況

項目	18年度末（現状）	19年度末（実績）	20年度末（実績）	21年度末（実績）	22年度末（実績）	22年度末（目標）
バリアフリー公園数（累計）	2カ所	2カ所	3カ所	3カ所	4カ所	4カ所
乳幼児キッズコーナー数(累計)	－	－	－	5カ所	9カ所※	10カ所
※10カ所目は、H23年度に完成予定						

市民・企業等との協働の状況（市民・企業等の参加、支援、協力の状況）

■市民との連携、市民参加
隣接する福祉施設や子育てサロンに参加している保護者及び地域住民を交えてワークショップを開催し、市民意見を取り入れながら整備案を作成した。また、その様子をニュースレターやホームページにより、広く市民に情報提供を行った。

■企業等との連携・協働
［資金協力］ 該当なし
［人材協力］ 該当なし
［情報協力］ 該当なし
［その他の協力］ 該当なし

■市民・企業等が参加しやすい環境づくり
バリアフリー公園のワークショップでは、地域や福祉施設が楽しみながら参加できるよう、公園内から発生した樹木を利用してグループで花壇の名前を作成する取り組みや、キッズコーナーのワークショップの開催に当っては、子育て中の保護者が参加しやすいように、子育てサロンの開催中に合わせワークショップを行った。

評価（成果）

○障がい者や高齢者、乳幼児やその保護者など誰もが使いやすい公園が増えた。

○公園利用者の交流、コミュニケーションの場が創出された。

課題

○福祉と連携した公園づくり
・連携する福祉施設利用者の障害の種類や程度から、地域と連携して整備を進めることが可能な候補地の選定が難しい。
・公園を地域のコミュニティーの場として捉え、レクリエーションやイベント開催など、地域や福祉施設が主体となって管理・活用して行くには、地域の参加を促すコーディネーターの存在が必要であるが、現状では人材が不足している。

○キッズコーナー
・コンセプトや施設内容については大方の利用者から好評を得ているが、一方でキッズコーナーを日常的に利用できる環境にある利用者は、札幌市全体からみると限定的である。
整備や維持管理にかかるコストを考慮しながらも、多くの子育て世代が利用できる環境を整えていく必要がある。

今後の事業の予定・方向

○個性あふれる公園整備事業と統合し、福祉施設や子育て親子も含めた地域ニーズを幅広く取り入れた再整備を進めていく。
また、キッズコーナーやバリアフリー公園の利用状況等の検証も行う。

様式イ

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書（その3）

（単位：千円）

施策体系コード	1-1-3	3-2-3		事業名	福祉と多世代のふれあい公園づくり事業

事業費の推移

項目			19年度	20年度	21年度	22年度	計
計画	事業費		0	101,000	90,000	75,000	266,000
	財源内訳	国・道支出金	0	0	0	0	0
		市債	0	90,000	81,000	67,500	238,500
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	11,000	9,000	7,500	27,500
予算	事業費		0	48,200	96,600	109,500	254,300
	財源内訳	国・道支出金	0	0	0	0	0
		市債	0	39,000	70,000	82,000	191,000
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	9,200	26,600	27,500	63,300
実績	事業費		0	47,090	86,112	99,564	232,766
	財源内訳	国・道支出金	0	0	0	0	0
		市債	0	38,000	67,000	75,000	180,000
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	9,090	19,112	24,564	52,766
事業費の進捗率			（H19実績＋H20実績＋H21実績＋H22実績）／（計画事業費）				87.5%

計画との差異（予算・実績・事業内容・規模・時期等）

《全体》
－
［19年度］
－
［20年度］
福祉施設と連携した公園1カ所の設計・工事予定が21年度以降に変更。
［21年度］
工事請負費入札差金が発生。
［22年度］
キッズコーナー1カ所については、新規公園造成(平成23年度)時にあわせて整備する予定。